

# 苫小牧 日高

苫小牧支社報道

☎0144・33・5331  
FAX 36・2065

Eメール  
toma@hokkaido-np.co.jp  
浦河支局

☎0146・22・2163  
FAX 22・3966

静内支局  
☎0146・42・1350  
FAX 43・3400

北海道新聞 朝刊1面コラム書き写し

卓上四季ノート  
162円(税込)  
好評発売中!

お求めはお近くの道新販売所へ

## 市民ホール「常識破って」 苫小牧 考える集いに200人



市民ホール(仮称)を巡る討論に耳を傾ける参加者

苫小牧市が複数の公共施設を統合して建設する複合施設「市民ホール(仮称)」のあり方を考える市主催のフォーラムが23日、市民会館(旭町3)で開かれ、市

民らが意見交換した。約200人が参加したフォーラムは、市民にホールへの関心を高めてもらう狙いで開いた。市民会館や文化会館など5施設を統合す

るホールについて、市は2017年度までに基本計画をまとめ、21年度までの着工を目指している。フォーラムではまず、岐阜県可児市の複合施設「市文化創造センターAiala」の衛紀生館長が、先進的な取り組みで注目を集める同館の活動を紹介した。貧困家庭や障害者を招いた催しを聞くなど、地域社会への貢献に力を入れていると説明。公共施設の役割について「劇場から1番遠くにいる人に来てもらい、愛好家ではなく支持者をつくること」が大事。常識を破らなければ新しい施設は生まれな

いと訴えた。討論では衛館長と岩倉博文市長ら5人が意見交換した。衛館長は「集客増の特効薬はない。来館者との会話を大切にするなど地道な取り組みが必要だ」。岩倉市長は今回の議論を頭に入れ、施設の付加価値を高められるよう方向性を検討したいと話した。(田鍋里奈)

討論では衛館長と岩倉博文市長ら5人が意見交換した。衛館長は「集客増の特効薬はない。来館者との会話を大切にするなど地道な取り組みが必要だ」。岩倉市長は今回の議論を頭に入れ、施設の付加価値を高められるよう方向性を検討したいと話した。(田鍋里奈)

白老町中心部から車で約20分圏の旧飛生小に毎秋、全国から千人ける。校舎を生かした共同アトリトコミュニティ」が仕掛ける「芸術祭」や「TOBIU CAMP」年を迎えたコミュニティ代表の根太さん(39)に、これまでの経緯を聞いた。

### 発足30周年を迎えた 飛生アートコミュニティ代表



くにまつ・きねた 1977年、札幌生まれ。画家の祖父登さん、彫刻家の父と続く芸一家に育つ。多摩美大卒、道教大大学院。2002年から飛生を拠点に活動する。年度道銀芸術文化奨励賞受賞。グループ



## 駒苫、静内 8強逃す

高校サッカー選手権

全国高校サッカー選手権大会道予選は2日目の23日、苫小牧市緑ヶ丘総合運動公園サッカー場などで2回戦8試合を行った。駒大苫小牧が旭川実業に0-1で、静内は0-5で帯広北にそれぞれ敗れ、東胆振・日高勢は全て姿を消した。駒大苫小牧は前半14分に先制点を許し、追いかける展開に。試合終盤に身長192センチのDFソ・ヨハン選手(3年)をFWに移し、

は「後半は自味であるスタし、好機を作はない」と振。静内は試合制され、集中最終盤にも3き放された。今年)は「後半守備が弱くなた。相手(帯にシュートをい、大量失点に悔しさをに24日は同公で進々決勝4

旭 2回戦  
帯広 実  
北 51  
51